

# 夢を追う卒業生 その15 平成30年10月18日

## 充実した大学生活の送り方

◇今回は、長屋愛佳さん（関西大学外国語学部英語専攻）のレポートです！

### 最初に

関高生の皆さん、こんにちは。私は平成27年度卒業生で、現在は関西大学外国語学部英語専攻の3年生です。今回は私の大学生活や一年間の留学生活についてお話ししたいと思います。

### 関西大学を志望したわけと現在

まず、私が関西大学外国語学部を志望した理由について話したいと思います。関西大学外国語学部では、一年間のスタディーアブロードプログラムが必修とされており、このプログラムを終了しなければ卒業することができません。大学に入ったら絶対に留学したいという思いがあった私にとって、このプログラムがとても魅力的でした。また、関関同立レベルを目指していたこともあり、この学部が最適だと感じました。

私は高校時代、勉強が得意というわけではなく、模試ではE判定ばかりで、よくてC判定でした。ですが、本気でこの大学に入りたいと思って塾にこもって必死に勉強を続け、関大の入試問題を何度も解き、最終的に合格することができました。今は模試でいい判定が出なくても、努力次第で結果は変わります。なので、諦めずに頑張りたいです。

次に関西大学の授業について話したいと思います。関西大学外国語学部の授業はほとんどが英語で行われます。英語に関する授業だけでなく、異文化理解や言語分析、教職などの授業もあり、自分の学びたい分野を選んで専門的に学ぶことができるのもこの学部の強みです。私は現在、言語分析のプログラムを履修しており、主に音声学の観点から見た英語（発音、アクセント、イントネーションなど）を学んでいます。また、日本語教師育成プログラムにも参加しており、大学卒業までに日本語教師の資格取得を目指しています。現在は、アメリカのプリンストン大学の日本語の授業をとっている生徒たちと共同でプロジェクトを行っており、日本語教師に必要なスキルについて勉強中で、大学卒業までに日本語教育能力検定試験合格が目標です。

### 留学について

先ほども話したように、私の所属している学部にはスタディーアブロードプログラムというものがあります。外国語学部生はイギリス、アメリカ、ニュージーランド、カナダ、オーストラリア、台湾、中国、韓国、キルギスにある大学の中から留学先を選び、一年間の留学をします。

私は2017年3月から12月までアメリカのユタ大学に留学をしていました。ユタってどこ？と思う人もいるかもしれませんが、ユタ州はソルトレイクシティオリンピックが行われた場所で、ウィンタースポーツを楽しめる場所です。また、グランドキャニオンがあるのもユタ州で、自然豊かな過ごしやすい地域でした。

留学先ではまず語学学校に通い、writing, reading, speaking & listening, grammar の4つの授業を受けます。先生はもちろんネイティブばかりなので、本場の英語にどっぷり浸かれます。日本の学校では教えてくれないような、細かい意味の違いを教えてください。(例えば、I will pick you up と I will be picking you up の違い。皆さんはわかりますか?)

語学学校には世界中から英語を学びに来ている生徒がおり、韓国、サウジアラビア、スペイン、フランス、中国など、背景に異なった文化を持つ人々が一緒に授業を受けます。初めはなかなか受け入れられない文化もあつたりします。実際に私は、ある国の人が食事の時に音を立てて食べるのが苦手でした。しかし、一緒に生活していく上で異文化を理解するのはとても大事なことだし、自分の文化を受け入れてもらうためには相手の文化も受け入れなければいけません。私は外国人の友達のパーソナリティを知ると、自然に相手の文化も受け入れることができましたが、異文化理解についても学べるのも、留学のメリットだと思います。また、私はホームステイをしていたので、家に帰っても英語を勉強できたし、アメリカの文化を体験できました。しかし、思っていることを英語で表現できない時はもどかしいし、自分の英語力の低さに何度もがっかりしました。その度に、もっと頑張ろう!と決心し、積極的にホストファミリーと話す努力をしました。彼らも私のその思いを汲み取り、勉強につき合ってくれたり、発音を訂正してくれたり、たくさんのアシストをしてくれました。留学を考えている人は、ぜひホームステイを体験してもらいたいと思います。



## サークル活動

大学生活の中で私にとって最も大きな存在はサークルです。私は入学した時からテニスサークルに所属しています。高校時代、部活に所属していなかった私ですが、友人が入るということで一緒に入ることに決めました。体育の授業でしかやったことのないテニスですが、今ではラリーもできるようになり、趣味が一つ増えたような感じです。

去年の秋からは、サークルの幹部として日々の練習やイベントを仕切る役割を担っています。サークルと聞くと、ただ遊んでいると思う人も多いと思いますが、ひとつの団体を生徒だけで運営しているので多様な人間関係、メンバーを楽しませるためのイベントの企画、学園祭での地域の方々との交流など、様々なことを学べる場でもあると思います。大学に入ったら部活やサークル、自分に合うものを見つけて、大学生活を充実してほしいなと思います。